

○総合窓口センターの約束

・部長の基本姿勢

総合窓口センターは、行財政改革を推進するために、事務の効率化とサービスの向上・維持について考えるとともに、外部委託・民営化の推進に取り組みます。

・市民生活課の約束

- 1 市民の皆さまに、常時上質の窓口サービスを持続的に提供できる体制を構築します。
- 2 三次市国民健康保険財政の健全な運営について、税率改正を含めた抜本的な方策について検討し、平成25年度中に一定の方針を決定します。

項目番号	取組項目	平成25年度目標
(2)－④	外部委託の推進 (多様な窓口業務)	●「戸籍窓口業務専門員」の実践を通しての人財育成と専門員設置の評価検証による次年度の専門員体制拡充の準備する。 ●窓口業務の民間事業者委託についての調査研究する。
(5)－⑥	国民健康保険事業における給付の適正化と負担の公平性の確保	●適正な課税（税率と改正の時期）についての方針を決定する。 ●給付の適正化事業の評価検証し、推進する。 ●国民健康保険税収納率の向上 現年度分収納率 94.3%以上 滞納繰越分収納率 19.0%以上
(5)－②	債権確保対策の推進	●後期高齢者医療保険料（普通徴収）収納率の向上 現年度分収納率 98.3%以上 滞納繰越分収納率 45.0%以上

・環境政策課の約束

住民サービスの向上を目指して事務事業の見直しや事務改善を積極的に進め効率的な運営に取り組みます。また、ISO14001、エネルギーの使用の合理化に関する法律（省エネ法）に係る省エネルギー措置が確実にできるよう諸施策をとりまとめて推進を進めます。

項目番号	取組項目	平成25年度目標
(1)－①	市民対話の機会拡充	現在行っている出前講座について内容の充実を図り、年間25回以上のごみの分別説明会を実施する。また、昨年度に引続いて説明会ごとにアンケート調査を実施し、内容の充実を図る。
(3)－③	内部管理経費の削減	ISO14001、省エネ法に係る省エネ措置を確実にを行うため、職員に周知徹底を図り、中長期的に見て年平均1%以上のエネルギー消費原単位の低減ができるよう取組む。 1 昨年度から実施している省エネ法に係る省エネ措置を確実にを行うため、エネルギー消費原単位が低減できるよう職員等により的確に周知し、徹底できるようにする。 2 今夏は電力会社の節電の数値目標は設定されていないが、特にISO14001対象施設は、昨年度と比較して節電になるよう取組む。
(4)－②	指定管理状況の検証と見直し	三次環境クリーンセンターの運営に指定管理者制度が活用できないかなどについて調査研究する。